

金融機関からの総借入金残高計算書

No.	借入金金融機関	指定対象	占める割合	年 月 日 の借入金残高 (直近の借入金残高)	年 月 日 の借入金残高 (前年同月借入金残高)	減少率 (対前年比)
1			%	円	円	%
2			%	円	円	%
3			%	円	円	%
4			%	円	円	%
5			%	円	円	%
6			%	円	円	%
7			%	円	円	%
8			%	円	円	%
合 計				円	円	%

法人名・代表者名、個人事業主名

上記のとおり相違ありません。



【区記入欄】

①商業登記簿謄本の確認

法人名			
代表者名			
本店登記所在地	台東区	丁目	番 号
	発行年月日	年	月 日

②法人税(又は確定)申告書控の確認

申告税務署	收受印・メール詳細	東京上野・浅草・その他 []
申告年月日	今期	年	月 日
	前期	年	月 日

③備考

.....

.....

.....

.....

受付	検算	確認

中小企業信用保険法2-5-7号認定の記入方法

【例】 株式会社 台東商店

甲銀行、乙信用金庫共に認定要件を満たしているので、
どちらの金融機関を指定しても認定申請を行なうことができます。

No.	借入金融機関	指定対象	占める割合	△年 ○月 ×日 の借入残高 (直近の借入残高)	△年 ○月 ×日 の借入残高 (前年同月借入残高)	減少率 (対前年比)
1	甲銀行	○	50.0%	20,000,000円	25,000,000円	20.0%
2	乙信用金庫	○	25.0%	10,000,000円	15,000,000円	33.3%
3	丙信用組合	×	17.5%	7,000,000円	8,000,000円	12.5%
4	国民生活金融公庫	×	7.5%	3,000,000円	4,000,000円	25.0%
合 計				40,000,000円	52,000,000円	23.1%

様式7-1

中小企業信用保険法第2条第5項
第7号の規定による認定申請書

令和 ○○ 年 ○○ 月 ○○ 日

東京都台東区長 殿

申請者住所 台東区東上野4-5-6
氏名 株式会社 台東商店
代表取締役 台東 太郎 (実印)
電話 (****) ****

(注1)

私は 甲銀行 が経営の相当程度の合理化に伴う金融取引の調整を行っていることにより、下記のとおり借入れの減少が生じ、経営の安定に支障が生じておりますので、中小企業信用保険法第2条第5項第7号の規定に基づき認定されるようお願いいたします。

(注1)	金融機関からの総借入金残高のうち、 <u>甲銀行</u> からの借入金残高の占める割合	(注1)	記	≥10.0%が
1	A △年 ○月 ×日の <u>甲銀行</u> からの借入金残高	50.0	%(A/B)	
	B △年 ○月 ×日の金融機関からの総借入金残高	20,000,000	円	
		40,000,000	円	
(注1)	2 <u>甲銀行</u> からの借入金残高の減少率	≥10.0%が	20.0	%((D-C)/D)
	C △年 ○月 ×日の <u>甲銀行</u> からの借入金残高	20,000,000	円	
	D △年 ○月 ×日(Cの前年同期を記入のこと)の	25,000,000	円	
(注1)	3 金融機関からの総借入金残高の減少率	>0%が 条件です	23.0	%((F-E)/F)
	E △年 ○月 ×日の金融機関からの総借入金残高	40,000,000	円	
	F △年 ○月 ×日(Eの前年同期を記入のこと)の 金融機関からの総借入金残高	52,000,000	円	

※ (注1)には、借入している指定金融機関名を記入してください。

表面の「認定の要件」を満たしていれば、記入する指定金融機関名は一行でも構いません。

※ 様式7-1、7-2二枚ともご記入ください。

※ 記入欄のAとCは同じ内容になります。

※ 記入欄のBとEは同じ内容になります。

※ 借入残高には手形割引は含みません。なお当座貸越は含めます。